

4 業務の実施計画: ①資金分配団体の選定等

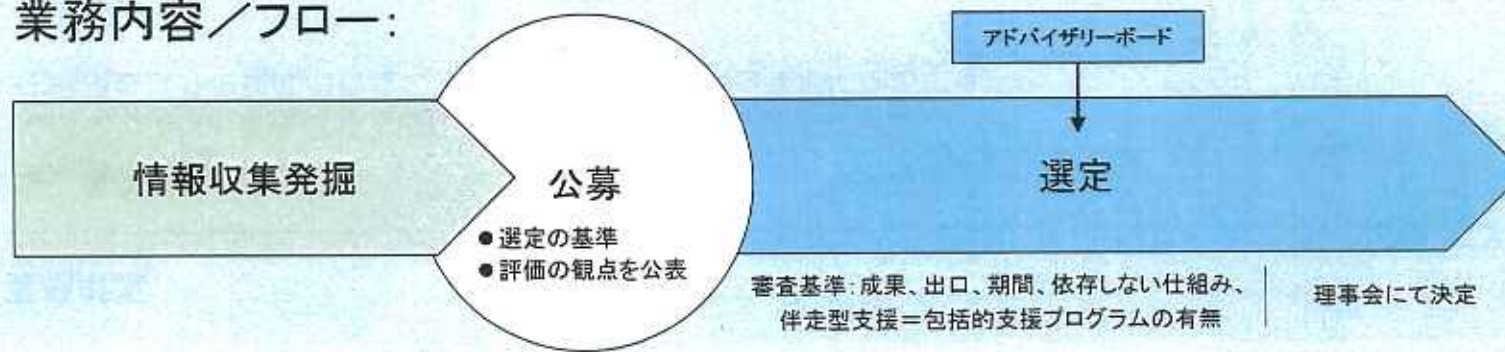
b) 資金分配団体の選定

実施計画

実施目標:

社会的成果の最大化の観点から包括的な支援プログラムが
実施可能な資金分配団体の発掘と選定をし、成長を促す支援を行う

業務内容／フロー:



実施体制:

・事業本部事業推進チーム+広報部



4 業務の実施計画: ②資金分配団体に対する助成等

a) 休眠預金等に係る資金の助成

実施計画

実施目標:

助成金の提供と非資金的支援を通じて、資金分配団体の成長を促し、休眠預金以外の民間の資金の獲得にもつなげる事例を早期に創出する

業務内容:

<ul style="list-style-type: none">● 最適なポートフォリオの設定: 社会的成果の観点から設定	<ul style="list-style-type: none">● 行う社会的成果が達成されない場合のリスク管理: 資金分配が行う助成プログラム、包括的支援に係る関係者の実施体制の確認から、成果未達の場合のシナリオ分析	<ul style="list-style-type: none">● 外部の専門家と連携した非資金的支援: コンサルティングファーム等と連携し、適切な支援を行う。
---	---	--

実施体制:

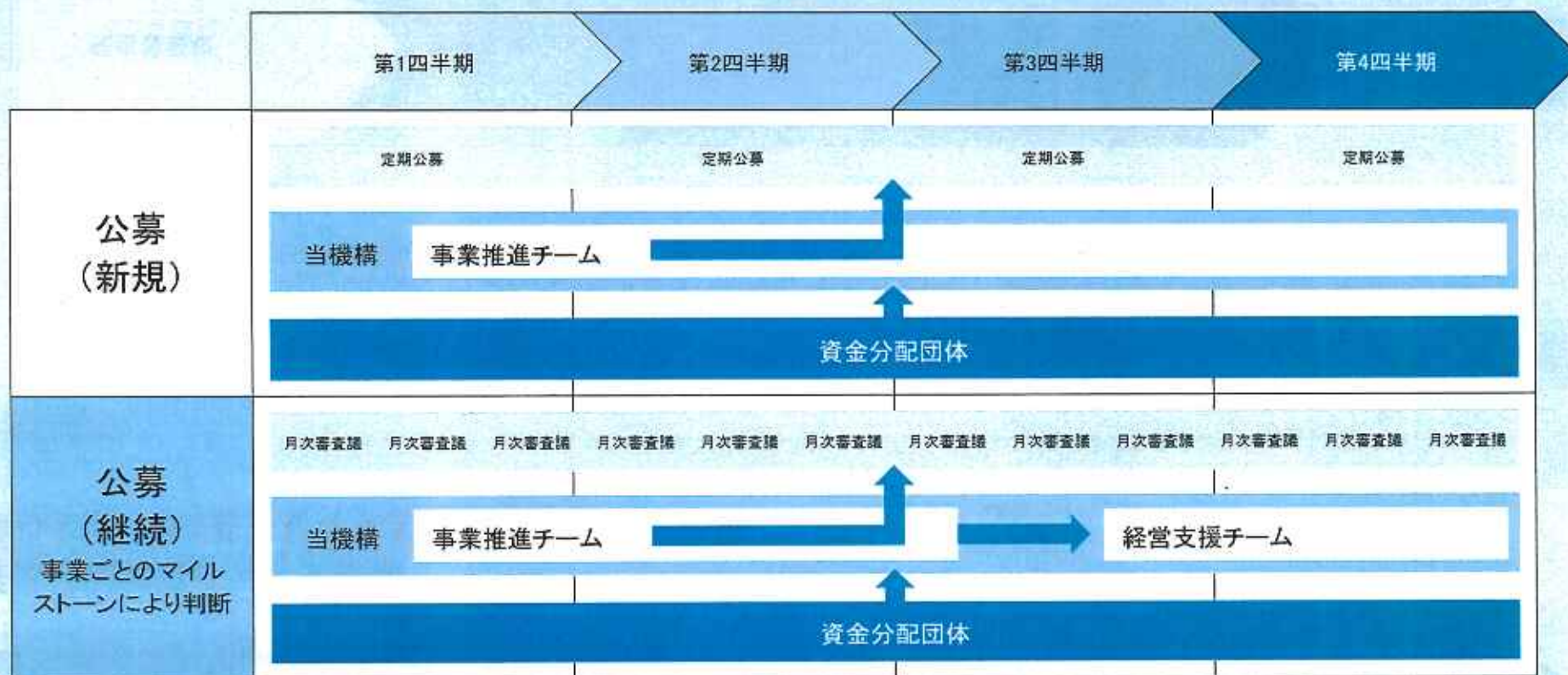
- 事業本部経営支援チーム+事業推進チーム



4 業務の実施計画: ②資金分配団体に対する助成等

b) 継続的な進捗管理と成果評価の点検・検証

業務内容／フロー:



4 業務の実施計画 ③資金分配団体に対する監督等

- a) 資金分配団体に対する監督
- b) 選定を取り消された資金分配団体の事業等の承継

実施計画

実施目標:

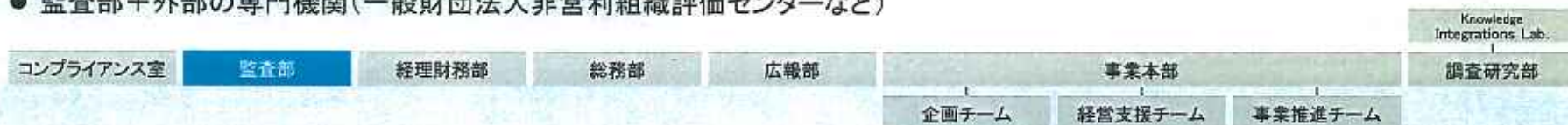
資金分配団体のガバナンス・コンプライアンスの体制及び履行の確認・助言等を行い、当該団体の事業が適正に遂行されるよう支援を行うことで、資金分配団体等の成長を促す

業務内容／フロー:



実施体制:

- 監査部+外部の専門機関(一般財団法人非営利組織評価センターなど)



4 業務の実施計画: ④休眠預金等交付金の受け入れ

実施計画

実施目標:

予算の適正かつ効率的な執行

業務内容:

休眠預金交付金及び運用資金の適切な運用	外部監査の徹底	執行状況の情報公開	執行残が生じた場合の翌年度予算への繰入
---------------------	---------	-----------	---------------------

実施体制:

- 経理財務部



4 業務の実施計画 ⑤民間公益活動の促進に関する調査及び研究

a) 案件の発掘・形成に係る調査及び研究

実施計画

実施目標：

資金分配団体及び民間公益活動を行う団体と連携した、社会的成果の拡大に資する活動、団体の発掘及びそれらの調査を通じたネットワークの形成

業務内容：

各地のNPO支援センター(官民間問わず)やコミュニティ財団や金融機関等からの情報収集
特に、地域の公益に関する情報を包括的に管理し、課題分析等に積極的に活用をしている(又はその意図がある)団体との連携を優先する。

実施体制：

- Knowledge Integrations Lab. + 調査研究部 + 事業本部



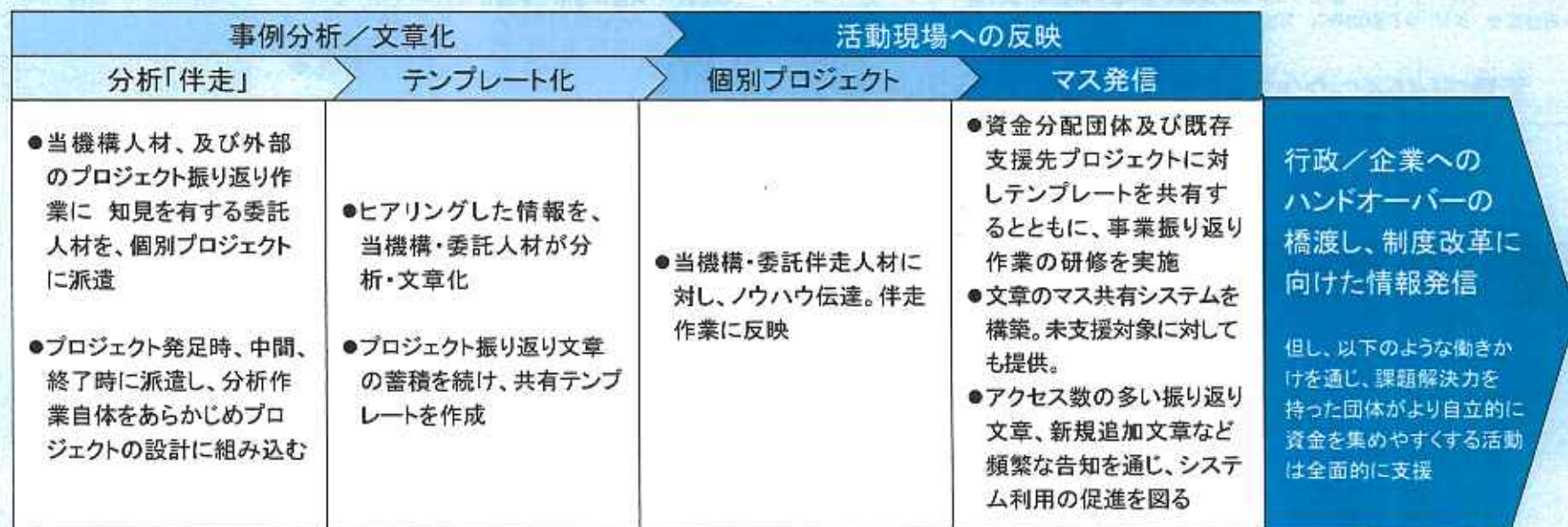
4 業務の実施計画: ⑤民間公益活動の促進に関する調査及び研究

b) 制度改善や活動促進に資する調査及び研究

実施計画

実施目標: 伴走支援から得られた現場での知見のテンプレート化。現場へのフィードバックとマス発信によって資金分配団体や民間公益活動が自立的に多様なリソースの獲得へとつながる。

業務内容:



実施体制:

- 事業本部 + Knowledge Integrations Lab. + 調査研究部

コンプライアンス室

監査部

経理財務部

総務部

広報部

事業本部

企画チーム

経営支援チーム

事業推進チーム

Knowledge Integrations Lab.

調査研究部

4 業務の実施計画： ⑥ 民間公益活動の促進に資するための啓発活動及び広報活動

- a) 戦略的・効果的な啓発活動及び広報活動
- b) シンボルマークの策定・活用

実施計画

実施目標／業務内容：

広報の目的	アプローチ	普及促進
透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ● WEB・アニュアルレポートによる詳細な情報公開 ● SNSを通じた速報性、開放性の高い情報公開 	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティマネージャーの専任化による、きめの細かい情報発信・コミュニティ形成
成果周知・民による社会課題解決気運の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題を「自分ごと」とする世論を醸成し、解決者・解決策への注目度を増幅させる「戦略PR」実施 <ul style="list-style-type: none"> ① ターゲットとする社会課題の存在の周知 (=記事化) ② 解決策を持った存在としての各活動団体・資金分配団体の紹介 ③ 一連の活動のインキュベーター/アクセラレーターとしての機構の紹介 ● 当機構の支援による社会インパクトの大きさを広範に周知するとともに、民による社会課題解決活動そのものの「自分ごと」化を狙う 	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会課題への耳目を集める「ファクト」の積極発信 Knowledge Integrations Lab等による調査、社会課題分析、伴走、事業評価・振り返り作業等で得られる情報資産のフル活用 ● 勉強会、現場視察等を通じたマスメディアへの積極的な情報提供 ● イベント等を通じたインキュベーター・アクセラレーターとしての当機構のPR

※再掲

実施体制：

- 広報部



4 業務の実施計画: ⑦適切な事業評価の実施

実施計画

実施目標:

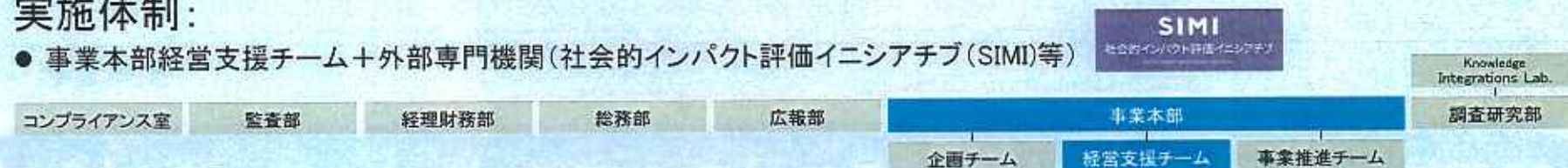
- ① 当機構における自己評価、②制度全体に対する評価の二つを行う評価の観点
 - 社会の諸課題の解決がどれだけ達成できたか、という「成果」創出の観点
 - 上記の状態が自律的かつ持続的な仕組みの創出につながっているか、という観点

業務内容:

「評価指針」の策定	資金分配団体に対する社会的 インパクト評価の実装支援及び研修	資金分配団体と連携した民間公益 活動を行う団体に対する社会的 インパクト評価の実装支援及び研修
-----------	-----------------------------------	---

実施体制:

- 事業本部経営支援チーム+外部専門機関(社会的インパクト評価イニシアチブ(SIMI)等)

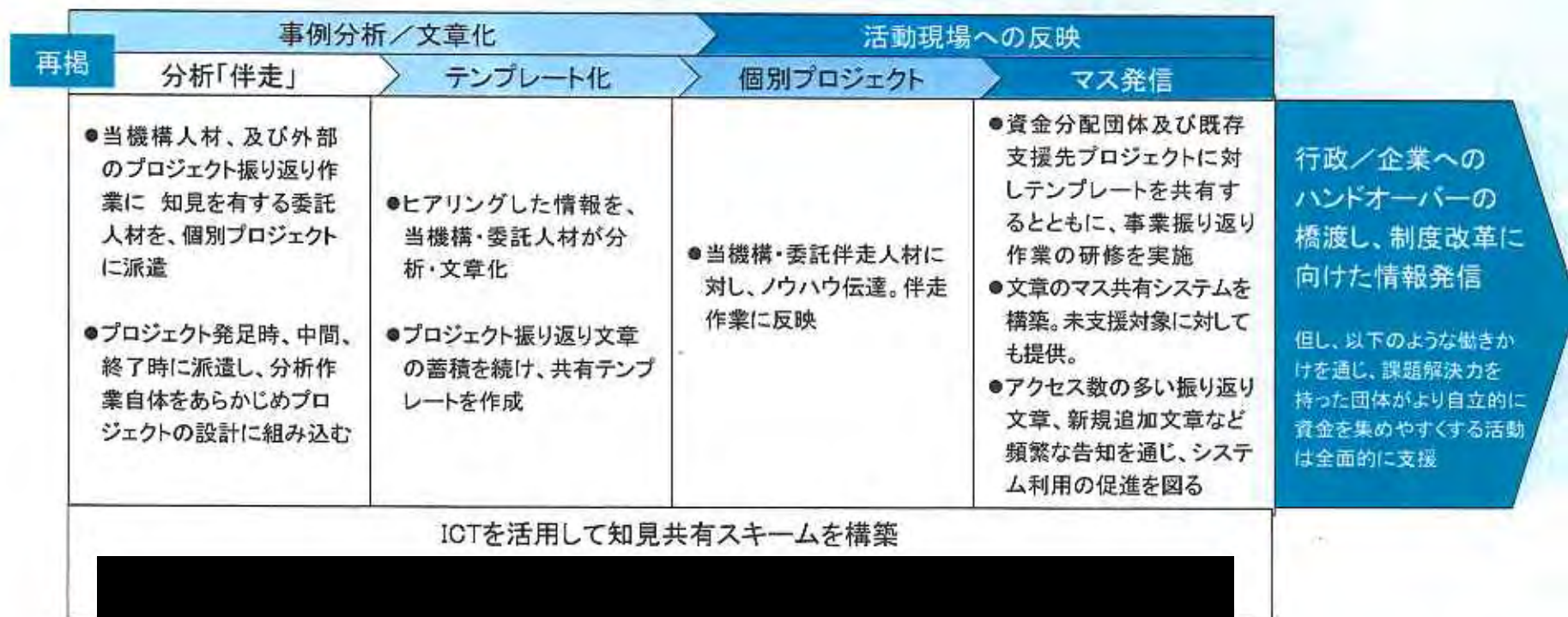


4 業務の実施計画: ⑧ 関連知識の分析・最適な組合せを図るための知識環境の整備

実施計画

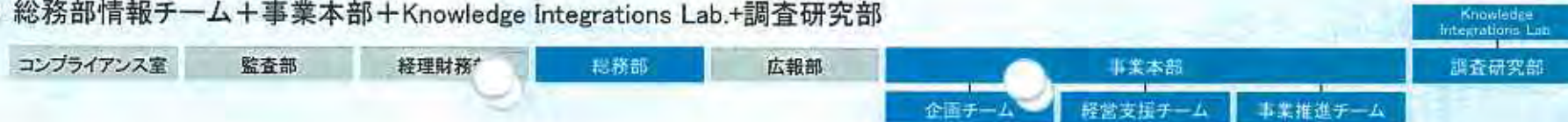
実施目標: 蓄積・分析された知見がICT等活用して現場へ共有される知識環境の整備がなされ、その結果として資金分配団体や民間公益活動が自立的に多様なリソースの獲得へとつながる。

業務内容:



実施体制:

- 総務部情報チーム + 事業本部 + Knowledge Integrations Lab.+ 調査研究部



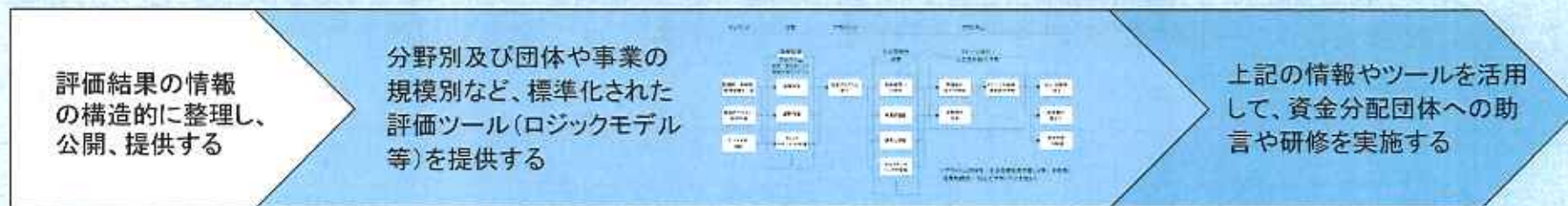
4 業務の実施計画: ⑨成果評価実施支援

実施計画

実施目標:

資金分配団体や民間公益活動を行う団体各々における成果志向の理解・定着、効果的・効率的な成果評価の実施及び評価結果の有効活用(インパクトマネジメント)がなされている状態を目指す。

業務内容/フロー:



実施体制:

- 事業本部経営支援チーム+企画チーム+外部専門機関(SIMI等)



4 業務の実施計画: ⑩研修

実施計画

実施目標:

資金分配団体及び民間公益活動を行う団体(以下、対象者)に対して、経営資源の獲得と活用方法が自ら学び得る研修等を企画、実施することにより、対象者の成長が促され、休眠預金のみには頼らない自立した経営が可能な状態にする一助とする。

業務内容:

Knowledge Integrations Lab. において分析された現場の知見(ベストプラクティスやプロジェクトマネジメントのドキュメント等)をオンライン及びオフラインで活用可能なコンテンツにする	コンテンツ化された情報をオンライン上で提供し、対象者の利用状況とフィードバックを得る。	同じく、オフラインの場を提供し知見の共有とネットワーキングを促進する。	先行オフラインイベント等の調査及びそれらとの協業検討	研修会の企画、実施
---	---	-------------------------------------	----------------------------	-----------

実施体制:

- 事業本部企画チーム+調査研究部



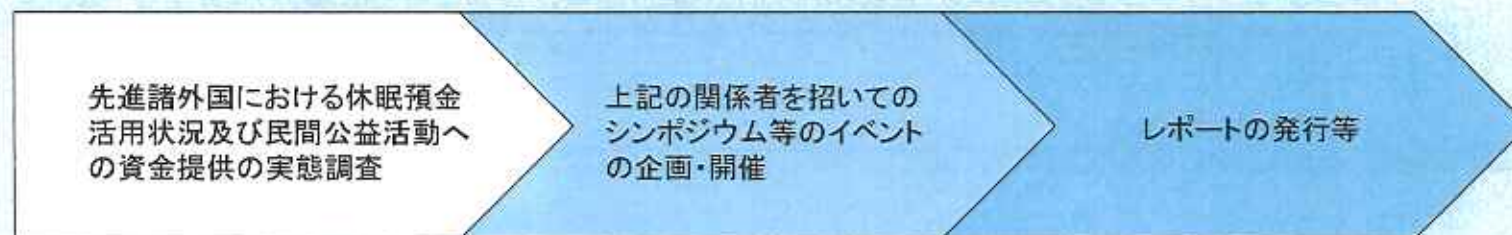
4 業務の実施計画: ⑪国際交流

実施計画

実施目標:

休眠預金を社会活動に活用している先進諸外国との知見の共有を進め、お互いがさらに効率的な資金活用が図れるようにする。

業務内容:



実施体制:

- 事業本部企画チーム+外部専門機関(「SOCIAL VALUE JAPAN」等海外とのネットワークを有する機関や専門家)



4 業務の実施計画: 成果評価の実施

実施計画

実施目標:

指定後は、上記①～⑪までの業務目標ごとに中期及び短期のKPIを設定し、成果の評価を行う。
その際、基本業務⑦「適切な事業評価の実施」で掲げた二つの観点でKPIを設定する。

- 社会の諸課題の解決がどれだけ達成できたか、という「成果」創出の観点
- 上記の状態が自律的かつ持続的な仕組みの創出につながっているか、という観点

業務内容:

当機構が自ら評価を実施するが、必要に応じて専門機関等による第3者評価を組み入れる。

実施体制:

- 理事会+事務局全体+外部専門機関

